

都市再生整備計画 事後評価シート  
荻野川周辺地区

平成25年4月

神奈川県 厚木市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	厚木市		地区名	荻野川周辺地区			面積	626ha	
交付期間	平成20年度～24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,040百万円	国費率	0.399			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道I-326・D-2号線 外、市道鷹尾幹線)、公園((仮称)広町公園)、高次都市施設(荻野公民館)									
		提案事業	地域創造支援事業(市民サービスコーナー整備事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	-									
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(みはる野入口交差点、市道本郷柄沢線)			追加		道路の安全性や快適性の確保のために新たに事業を		人にやさしいまちづくりの推進に関連するが、目標値は据え置く		
		提案事業	-			-		-		-		
交付期間の変更	当初	平成20年度～24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値				
	指標1	緑道通行者数	人/日	141	H19	155	H24		174	あり	市道I-326・D-2号線外が健康・交流のみちとして整備され、広町公園が散策途中の休憩所として利用可能となり、各施設が相乗的な効果を上げたため散策者が増加した。	平成25年3月
指標2	生活環境に対する意識	%	22	H19	24	H25		25	あり	地域住民の意見を取り入れた広町公園、道路、公民館の整備等により、生活環境に対する満足度が向上した。	平成26年1月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1	みはる野入口交差点の渋滞解消	m	420	H19	/			50	/	交差点部に左折レーンを増設したことにより、スムーズに通行できるようになった。	-
	その他の数値指標2	荻野公民館の利用者数	人	27,240	H19	/			45,837	/	荻野公民館の新築移転により、多目的広場や体育館など施設が広がり機能が充実したことや、市民サービスコーナー内に整備されたミーティングルームは、地域住民や地元市民団体の会合の場として広く利用されている。	-
その他の数値指標3	-				/				/			
4)定性的な効果発現状況	<p>・広町公園は、整備前は草木が深く茂り、人の出入りがほとんどない場所であったが、開放的で明るい水辺空間の創出により子ども安全に利用できる空間となり、大幅に利用者が増加した。また、生物部が活発に活動している高校と地域住民(厚木生物会、荻野自然観察会、本郷七日会など)による外来生物の除去等を行うことで、希少植物であるミクリや整備前から飛来するカワセミなどの地域独自の自然環境の保全に努めている。</p> <p>・健康・交流のみちづくりでは、検討会議や意見交換会を実施し、市民の声を反映した整備が行われ、利用者から「歩きやすい道である」、「川のせせらぎが見えて良い」などの意見があった。</p> <p>・荻野公民館の新築移転により、公民館利用者数が増加すると共に、市民サービスコーナー内に整備されたミーティングルームは、地域住民や地元市民団体の会合の場として広く利用されている。</p>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	広町公園計画への住民参加 荻野公民館建設への住民参加		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も地元住民や地元市民団体と協働で、身近な自然環境の保全とそれらを身近に親しめる環境整備を目指す。 今後も地元住民や地元市民団体と協働で、運営を進める。				
持続的なまちづくり体制の構築	広町公園の美化活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も地元住民や地元市民団体と協働で、身近な自然環境の保全とそれらを身近に親しめる環境整備を目指す。					

## 様式2 - 2 地区の概要

### 荻野川周辺地区(神奈川県厚木市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 自然共生による水やみどりを生かしたまちづくり 目標1 水とみどりに親しめる施設整備 目標2 人にやさしいまちづくりの推進	緑道通行者数	単位:人/日	141	H19	155	H24	174	H23
	生活環境に対する意識	単位:%	22	H19	24	H25	25	H23
	-	-	-	-	-	-	-	-



**まちの課題の変化**

- ・既存資源を生かした施設整備が課題であったが、広町公園の整備により、貴重な動植物を保護しつつ地域住民に身近に親しめる自然環境の場が整った。また、健康・交流のみちとして荻野川沿いを散策できる歩行空間の整備により、安全で快適な歩行空間が確保されたが、利用者の増加により、更なる利便性や交通安全性を考慮した散策環境の改善が望まれる。
- ・地域コミュニティ活動の拠点施設の整備が課題であったが、施設整備により、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が利用できる荻野公民館や、広町公園での美化活動や自然観察会などにより、地域コミュニティ活動の拠点や活動の場として活用され、課題が改善した。
- ・高齢者に配慮した人優先のまちづくりが課題であったが、道路整備による地区内生活道路の歩行者の安全性や防犯面の向上、荻野公民館のバリアフリー化等地域住民の意見を反映した施設整備により、高齢者だけでなく幅広い世代が安心して暮らせるまちづくりが進められ、課題が改善した。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・本計画以外の健康・交流のみちの整備や清田谷川水辺創出事業整備等に努め、地域資源を活用した自然環境の場の更なる充実を図る。
- ・自然環境を通じて、維持管理や環境教育などソフト施策を行うことで、新旧住民が一体となった地域コミュニティの更なる発展を目指す。
- ・道路や公園等の整備・維持管理により、安全・安心面での相乗効果を図り、暮らしやすいまちづくりを推進する。
- ・健康・交流のみちが、地域住民だけでなく、来訪者も快適に利用できるよう、情報発信による更なる安全性・利便性の向上や散策者の交通安全対策を図る。

# 荻野川 周辺地区

## 地区の特徴・課題

荻野地区は、丹沢山麓の樹林地及び荻野川等の河川に囲まれ、豊かな自然環境に恵まれています。また、大型開発により計画的に整備された住宅地が多く、水とみどりに囲まれた住環境は郊外型ベッドタウンとして人気を集めています。しかし、荻野川を始めとする豊かな自然環境を身近に親しめる施設が不足しています。また、みはる野団地等の大規模分譲により、新住民が増加したことから、新旧の住民を問わず、地域のコミュニティ活動を行うことができる拠点施設の整備が必要です。さらに、鷲尾団地等の既存団地では高齢化が進んでいることから、高齢者に配慮した人優先のまちづくりが求められています。本地区では、このような課題解決を図るため、都市再生整備計画により、荻野川の豊かな自然環境を生かし、市民参加で施設を計画し、自然環境を通じたコミュニティづくりを目指します。

## PDCAサイクルでまちづくり

地区のまちづくりに必要な事業を記載した「都市再生整備計画」を作成(Plan)し、成果を意識しながら事業を実施(Do)し、交付期間最終年度に目標の達成状況を評価(Check)するとともに、必要な改善点は速やかに改善する(Action)というPDCAサイクルでまちづくりを進めました。



## 「まちづくりの目標」と目標の達成度を測る「指標」を設定しました。

大目標 自然共生による水やみどりを生かしたまちづくり

- 目標1 水とみどりに親しめる施設整備
- 目標2 人にやさしいまちづくりの推進

指標	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
指標1: 緑道通行者数	荻野川堤防道路の通行者数	荻野川周辺の公園、堤防道路等を整備することにより歩行者通行量が増加する。	141 人/日 (H19)	155 人/日 (H24)
指標2: 生活環境に対する意識	当該地区の市民意識調査のまちづくりの変化に対する指標の平均	コミュニティ施設、周辺環境の整備に伴い、住民の生活環境(緑の空間、水辺の空間、生涯学習、人にやさしい市街地の形成(バリアフリー等))に対する満足度が向上する。	22% (H19)	24% (H25)

都市再生整備計画の作成  
Plan

## 道路、公園、公民館の整備を行いました。

- <実施事業>
- 市道 I-326・D-2 号線 外
  - みはる野入口交差点
  - 市道鷲尾幹線
  - 市道本郷柄沢線
  - (仮称) 広町公園
  - 荻野公民館
  - 市民サービスコーナー整備事業 (荻野公民館内)



市道 I-326・D-2 号線 外



(仮称) 広町公園



荻野公民館

事業の実施  
Do

## 評価結果を踏まえ、今後は次の事項に取り組めます。

身近に親しめる自然環境の場の更なる活用、コミュニティ活動拠点施設の更なる活用

<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画以外の健康・交流のみちの整備や清田谷川水辺創出事業整備等に努め、地域資源を活用した自然環境の場の更なる充実を図る。</li> <li>自然環境を通じて、維持管理や環境教育などソフト施策を行うことで、新旧住民が一体となった地域コミュニティの更なる発展を目指す。</li> </ul>	<p>&lt;想定される事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康・交流のみちにおける「道路里親制度」を活用した地域住民による維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知</li> <li>「清田谷川水辺創出事業」の実施</li> <li>「みはる野調整池水路多自然化整備事業」の実施</li> <li>広町公園などの地域住民による維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知</li> <li>広町公園の美化活動、自然環境学習活動、荻野公民館を活用した幅広い世代が参加できる定期的なイベント等の開催</li> <li>自然環境活動により発展したコミュニティ活動を基にした、他の地域活動への展開</li> </ul>
--	---

幅広い世代が安心して暮らせるまちづくりの推進

<ul style="list-style-type: none"> <li>道路や公園等の整備・維持管理により、安全・安心面での相乗効果を図り、暮らしやすいまちづくりを推進する。</li> </ul>	<p>&lt;想定される事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路構造物並びに道路安全施設の維持管理</li> <li>地域住民による道路や公園の維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知</li> </ul>
---	---

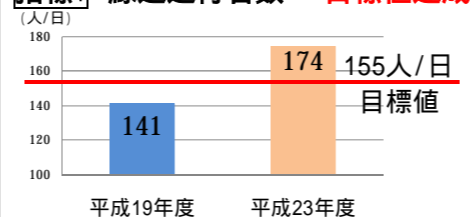
健康・交流のみちの利用者の増加による利便性や交通安全性を考慮した散策環境の改善

<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民だけでなく、来訪者も快適に利用できるよう、情報発信による更なる安全性・利便性の向上を図る。</li> <li>散策者の交通安全対策を図る。</li> </ul>	<p>&lt;想定される事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報案内板、誘導サイン等の設置</li> <li>ルートの紹介(ホームページでの情報発信、マップの作成等)の検討</li> <li>道路安全施設設置の検討</li> </ul>
---	--

## Check 目標の達成度を評価しました。

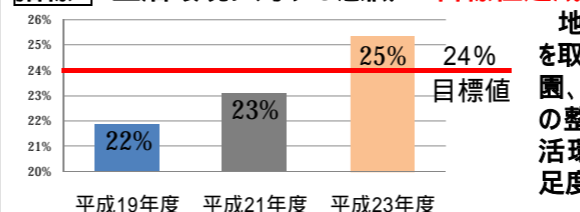
計画時に設定した指標と事後評価時に追加した指標(その他の指標)により、目標の達成度を評価しました。

指標1 緑道通行者数 目標値達成



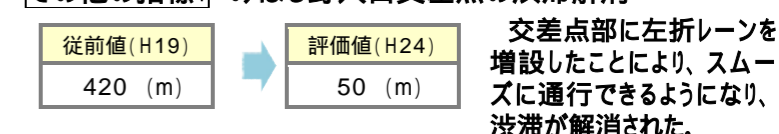
市道 I-326・D-2 号線外が健康・交流のみちとして整備され、広町公園が散策中の休憩所として利用可能となり、各施設が相乗的な効果を上げたため散策者が増加した。

指標2 生活環境に対する意識 目標値達成



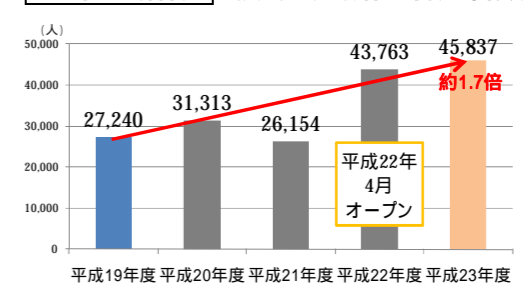
地域住民の意見を取り入れた広町公園、道路、公民館の整備等により、生活環境に対する満足度が向上した。

その他の指標1 みはる野入口交差点の渋滞解消



交差点部に左折レーンを増設したことにより、スムーズに通行できるようになり、渋滞が解消された。

その他の指標2 荻野公民館の利用者数



荻野公民館の新築移転により、多目的広場や体育館など施設が広くなり機能が充実したことや、市民サービスコーナー内に整備されたミーティングルームは、地域住民や地元市民団体の会合の場として広く利用されている。

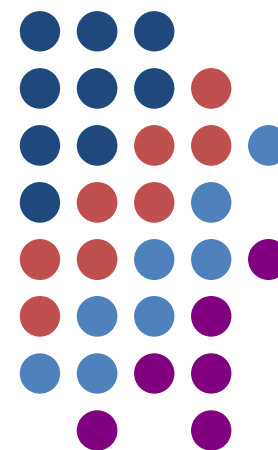
<数値では評価できない定性的な効果>

- 広町公園は、整備前は草木が深く茂り、人の出入りがほとんどない場所であったが、開放的で明るい水辺空間の創出により子どもも安全に利用できる空間となり、大幅に利用者が増加した。また、生物部が活発に活動している高校と地域住民(厚木生物会、荻野自然観察会、本郷七日会など)による外来生物の除去等を行うことで、希少植物であるミクリや整備前から飛来するカワセミなどの地域独自の自然環境の保全に努めている。
- 健康・交流のみちづくりでは、検討会議や意見交換会を実施し、市民の声を反映した整備が行われ、利用者から「歩きやすい道である」「川のせせらぎが見えて良い」などの意見があった。
- 荻野公民館の新築移転により、公民館利用者数が増加すると共に、市民サービスコーナー内に整備されたミーティングルームは、地域住民や地元市民団体の会合の場として広く利用されている。

# 荻野川周辺地区 事後評価

---

1. 事後評価手続き等について
2. 今後のまちづくり等について



# 1. 事後評価手続き等について



- **成果の評価**

  - 指標の達成の確認

- **実施過程の評価**

  - 計画策定段階での住民参加、継続的な住民参加の確認

- **効果発現要因の整理**

  - 指標に対する各事業の貢献度の整理

- **事後評価原案の公表**

  - 原案公表の方法と市民からの意見



**審議**

**目標達成度とその他の指標設定**

指標		目標達成度
指標1	緑道通行者数(人/日)	○
指標2	生活環境に対する意識(%)	○

その他の数値指標		役割
その他の数値指標1	みはる野入口交差点の渋滞解消(m)	道路整備の事業効果が分かる指標として設定
その他の数値指標2	荻野公民館の利用者数(人)	指標2を補完

# ■ 成果の評価

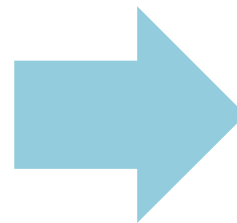
## 添付様式2-①



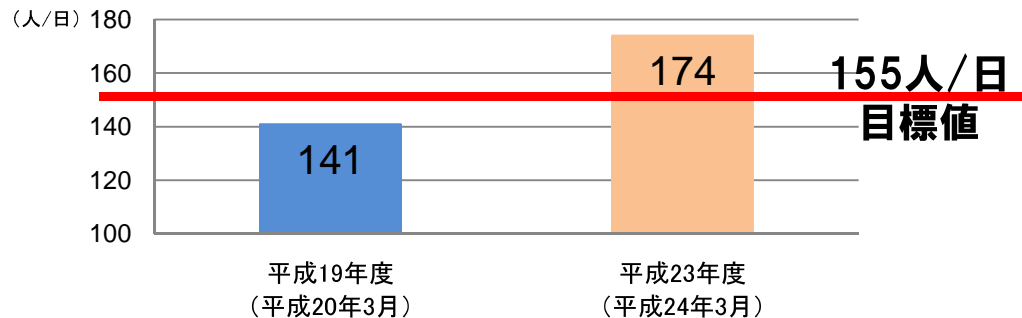
### 審議 指標1 緑道通行者数(人/日)

目標と指標及び目標値の関連性	荻野川周辺の公園、堤防道路等を整備することにより歩行者通行量が増加する。
データの計測手法と評価値の求め方	市道I-326・D-2号線外の3箇所(弁天橋、本郷橋、十二天橋)において、平日(9時～10時、15時～16時)の歩行者通行量を測定し、合計数を指標とした。評価値は平成24年3月に測定した数値を活用した。平成24年度に対象事業があるため、整備完成后(平成25年3月)に確定値を計測する。

従前値(H19)	目標値(H24)
141(人/日)	155(人/日)



評価値(H23) 見込み
174(人/日)





## ■ 成果の評価

## 添付様式2-①

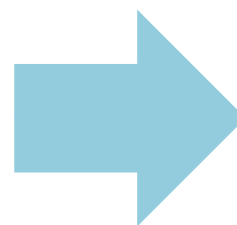


**審議**

### 指標2 生活環境に対する意識(%)

目標と指標及び目標値の関連性	コミュニティ施設、周辺環境の整備に伴い、住民の生活環境(緑空間・水辺空間・生涯学習・バリアフリー)に対する満足度が増加する。
データの計測手法と評価値の求め方	厚木市民意識調査における設問『まちづくり全般の変化』にて36項目をそれぞれ『良くなった』、『変わらない』、『悪くなった』のいずれかで評価してもらい、そのうち関連する4項目(①緑の空間、②水辺の空間づくり、③生涯学習の場と機会、④人にやさしい市街地の形成(バリアフリー等))の『良くなった』の平均値を指標とした。評価値は直近の調査である平成23年度の数値を活用した。計画期間途中での数値であるため、平成25年度の調査で確定値を計測する。

従前値(H19)	目標値(H25)
22(%)	24(%)



評価値(H23) 見込み
25(%)

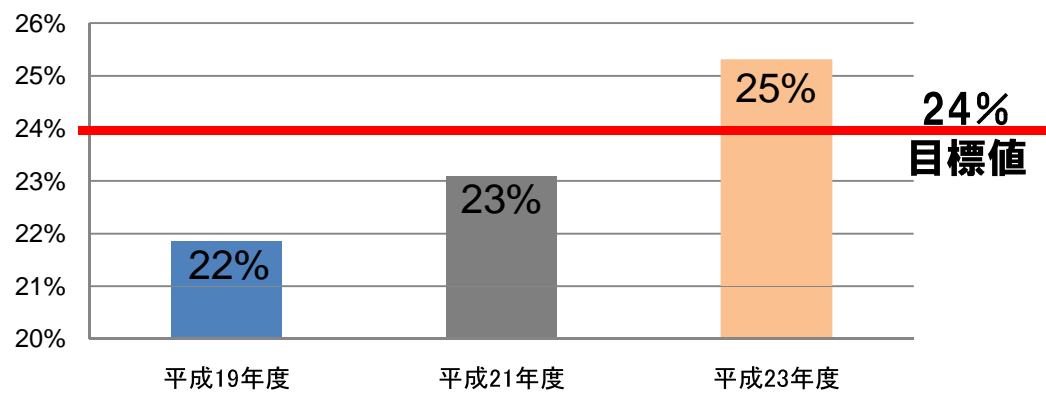


## 審議

## 指標2 生活環境に対する意識(%)

### ● 厚木市民意識調査

	平成19年度	平成21年度	平成23年度
①公園や自然環境などの緑の空間	22.0%	23.1%	30.5%
②河川など水辺の空間づくり	15.0%	15.9%	19.5%
③生涯学習の場と機会	18.5%	20.2%	20.7%
④人にやさしい市街地の形成(バリアフリー等)	31.9%	33.2%	30.5%
①～④の平均値	21.9%	23.1%(↗)	25.3%(↗)

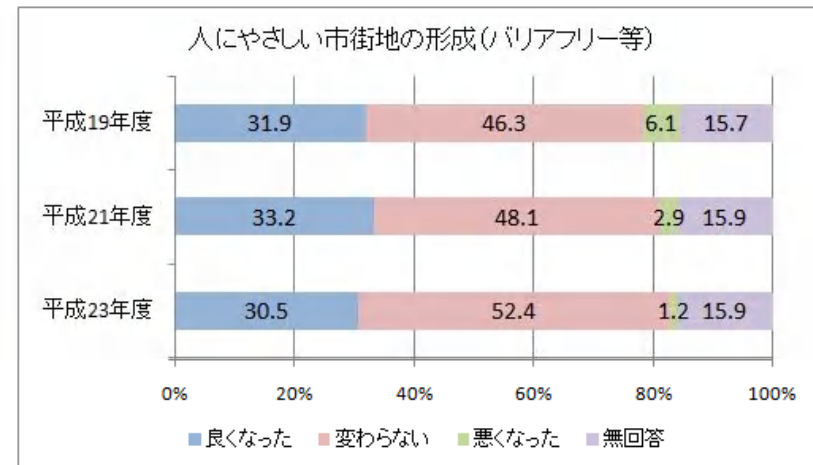
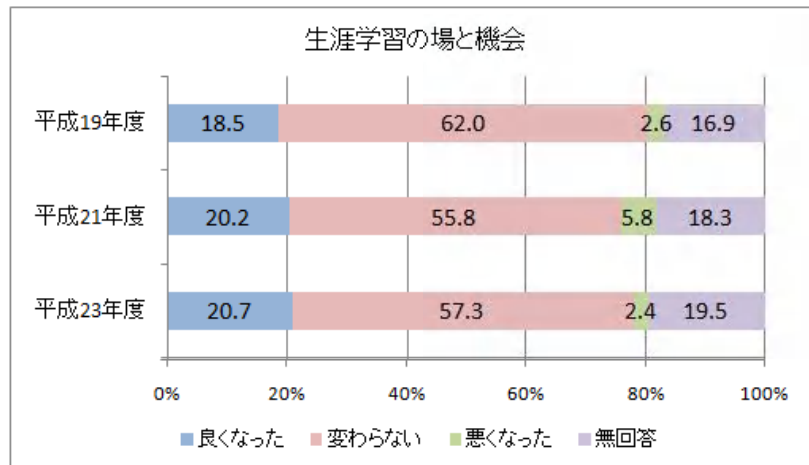
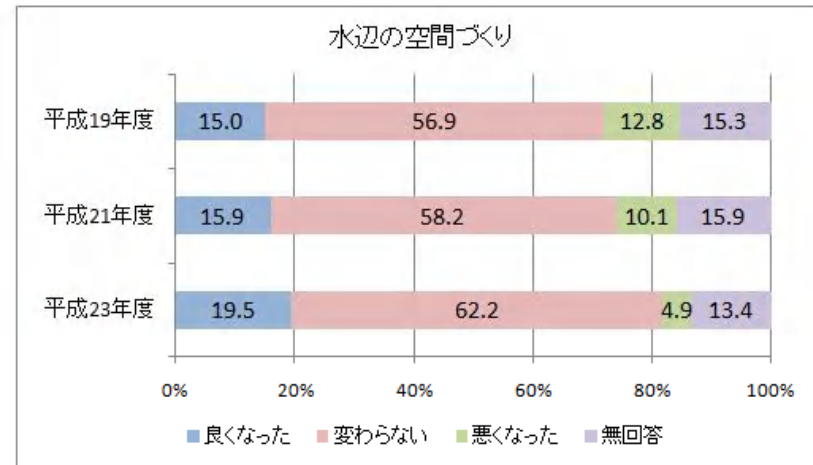
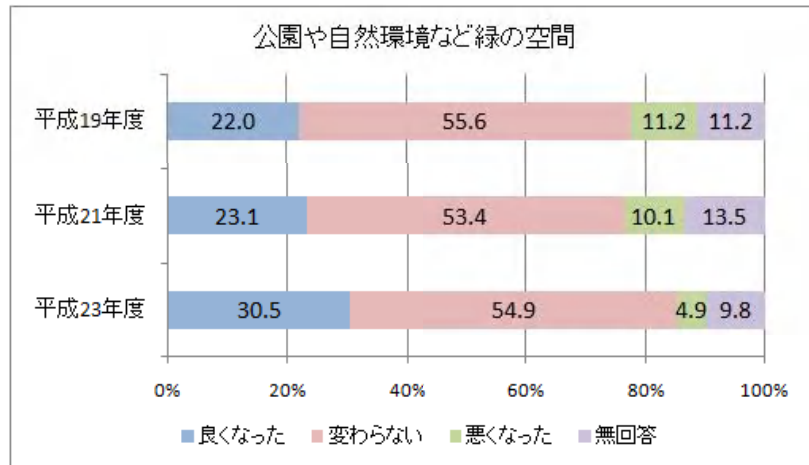




## 審議

## 指標2 生活環境に対する意識(%)

### ● 厚木市民意識調査

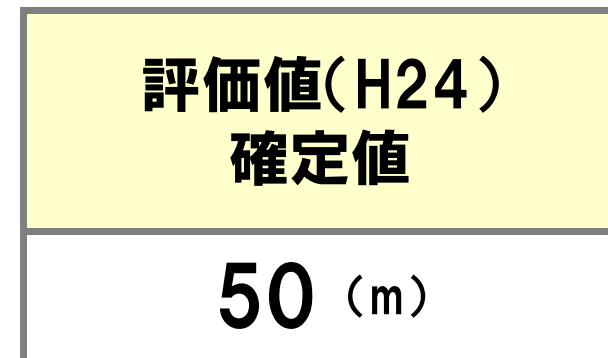
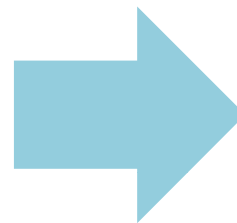
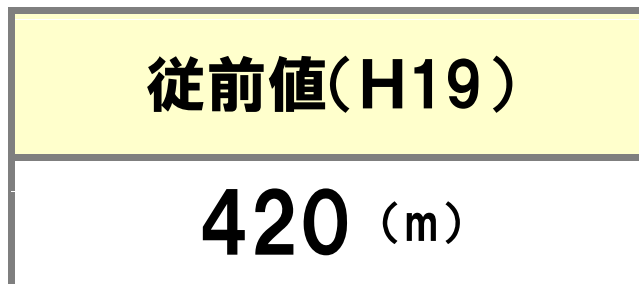




### 審議

### その他の数値指標1 みはる野入口交差点の渋滞解消(m)

目標と指標及び目標値の関連性	みはる野入口交差点の2車線化整備により、交通渋滞が解消する。
データの計測手法と評価値の求め方	市道H-514号線のみはる野入口交差点において、平日の通勤時間帯の渋滞長(1回の信号で交通できなかった車両の滞留長)を計測し、指標とする。対象事業は完成しているため、確定値とする。



## ■ 成果の評価

## 添付様式2-②



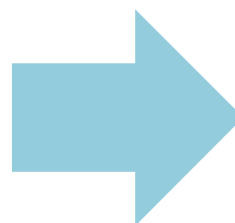
審議

### その他の数値指標2 荻野公民館の利用者数(人)

目標と指標及び目標値の関連性	荻野公民館の整備により地域コミュニティの場が充実し、住民活動が活発になる。
データの計測手法と評価値の求め方	荻野公民館の年度別利用者数を指標とする。 対象事業は完成しているため、確定値とする。

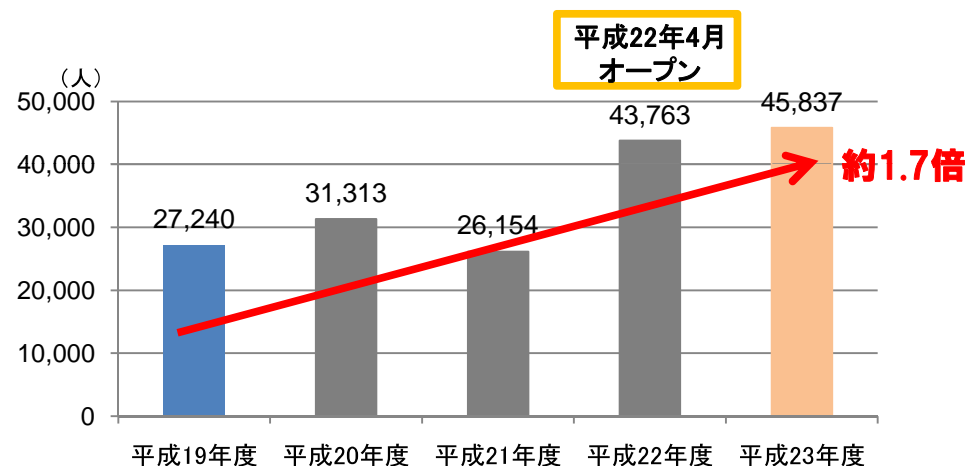
従前値(H19)

27,240 (人)



評価値(H23)  
確定値

45,837 (人)





### 審議

### 定量的に表現できない定性的な効果

広町公園は、整備前は草木が深く茂り、人の出入りがほとんどない場所であったが、開放的で明るい水辺空間の創出により子どもも安全に利用できる空間となり、大幅に利用者が増加した。

広町公園は、生物部が活発に活動している高校と地域住民(厚木生物会、荻野自然観察会、本郷七日会など)による外来生物の除去等を行うことで、希少植物であるミクリや整備前から飛来するカワセミなどの地域独自の自然環境の保全に努めている。

健康・交流のみちづくりでは、検討会議や意見交換会を実施し、市民の声を反映した整備が行われ、利用者から「歩きやすい道である」「川のせせらぎが見えて良い」などの意見があった。

荻野公民館の新築移転により、公民館利用者数が増加すると共に、市民サービスコーナー内に整備されたミーティングルームは、地域住民や地元市民団体の会合の場として広く利用されている。



### 報告

## 住民参加プロセスの実施状況

### ① 広町公園計画への住民参加

【実施頻度】4回

【実施時期】平成20年度～平成21年度

【実施結果】公園計画の構想から整備後の管理に関する役割分担に至るまで話し合いを進め、詳細なプランを作成した。

### ② 荻野公民館建設への住民参加

【実施頻度】16回(内交付期間内5回)

【実施時期】平成18年度～平成21年度

【実施結果】地元住民で組織する 荻野公民館建設委員会において、配置計画から部屋の使用方法に至るまで詳細な検討を行った。



### 報告

## 持続的なまちづくり体制の構築状況

### ① 広町公園の美化活動

＜本郷七日会＞

年3回、草刈や清掃などが行われている。

＜荻野やまゆり会＞

花未来事業を活用した花の植え付け・管理が行われている。

### ② 荻野公民館における住民参加の取組

＜荻野公民館＞

荻野公民館を発信拠点とし、地域住民や地元市民団体との協働により地域活動を推進し、より良い地域づくり・人づくりを目指す。



# ■ 効果発現要因の整理

## 添付様式4-②



**審議**

### 指標1 緑道通行者数(人/日)

種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度
基幹事業	市道I-326・D-2号線 外	◎
	みはる野入口交差点	—
	市道鳶尾幹線	—
	市道本郷柄沢線	—
	(仮称)広町公園	◎
	荻野公民館	—
提案事業	市民サービスコーナー整備事業	—
関連事業	東谷戸川多自然川づくり事業	◎
	清田谷川水辺創出事業(整備時期調整中)	
	みはる野調整池水路多自然化整備事業(整備時期調整中)	

※指標改善への貢献度

◎:指標に直接的に貢献、○:指標に間接的に貢献、—:相関性なし

#### 総合所見

市道I-326・D-2号線外が健康・交流のみちとして荻野川沿いの歩行空間として整備され、広町公園が散策途中の休憩所として利用可能となり、各施設が相乗的な効果を上げたため散策者が増加した。

地域住民だけではなく他地域で実施されるウォーキングイベントのルートにもなり、利用者が増加している。

#### 今後の活用

利用者に使いやすい散策空間の維持や改善により、利用者数の増加を目指す。

# ■ 効果発現要因の整理

## 添付様式4-②



**審議**

### 指標2 生活環境に対する意識(%)

種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度
基幹事業	市道I-326・D-2号線 外	○
	みはる野入口交差点	◎
	市道鳶尾幹線	○
	市道本郷柄沢線	○
	(仮称)広町公園	◎
	荻野公民館	◎
提案事業	市民サービスコーナー整備事業	◎
関連事業	東谷戸川多自然川づくり事業	◎
	清田谷川水辺創出事業(整備時期調整中)	-
	みはる野調整池水路多自然化整備事業(整備時期調整中)	-

※指標改善への貢献度

◎:指標に直接的に貢献、○:指標に間接的に貢献、-:相関性なし

#### 総合所見

地域住民の意見を取り入れた広町公園、道路、公民館の整備等により、生活環境に対する満足度が向上した。

アンケート調査では、特に「緑の空間」と「水辺の空間づくり」の満足度が大幅に向上しており、その理由として、開放的で明るい広町公園の整備による地域住民が気軽に自然環境に親しめる空間の充実が考えられる。

#### 今後の活用

地域住民の意見を取り入れた生活環境の改善により、生活環境に対する満足度の向上を目指す。

# 効果発現要因の整理

## 添付様式4-②



**審議**

その他の数値指標1

**みはる野入口交差点の渋滞解消(m)**

種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度
基幹事業	市道I-326・D-2号線 外	—
	みはる野入口交差点	◎
	市道鳶尾幹線	—
	市道本郷柄沢線	—
	(仮称)広町公園	—
	荻野公民館	—
提案事業	市民サービスコーナー整備事業	—
関連事業	東谷戸川多自然川づくり事業	—
	清田谷川水辺創出事業(整備時期調整中)	—
	みはる野調整池水路多自然化整備事業(整備時期調整中)	—

### 総合所見

交差点部に左折レーンを増設したことにより、スムーズに通行できるようになった。  
 整備前は朝夕の通勤通学時には2~3回の信号待ちが発生していたが、整備後は渋滞が解消された。

### 今後の活用

良好な交通環境を保つための維持管理を行う。

※指標改善への貢献度

◎:指標に直接的に貢献、○:指標に間接的に貢献、—:相関性なし

# ■ 効果発現要因の整理

## 添付様式4-②



**審議**

### その他の数値指標2 荻野公民館の利用者数(人)

種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度
基幹事業	市道I-326・D-2号線 外	—
	みはる野入口交差点	—
	市道鳶尾幹線	—
	市道本郷柄沢線	—
	(仮称)広町公園	—
	荻野公民館	◎
提案事業	市民サービスコーナー整備事業	◎
関連事業	東谷戸川多自然川づくり事業	—
	清田谷川水辺創出事業(整備時期調整中)	
	みはる野調整池水路多自然化整備事業(整備時期調整中)	

※指標改善への貢献度

◎:指標に直接的に貢献、○:指標に間接的に貢献、—:相関性なし

#### 総合所見

荻野公民館の新築移転により、多目的広場や体育館など施設が広くなり機能が充実したことにより、音楽やスポーツ、料理教室などの多種にわたるサークル活動や地域活動が活発に行われ、利用者が大幅に増加すると共に、市民サービスコーナー内に整備されたミーティングルームは、地域住民や地元市民団体の会合の場として広く利用されている。

#### 今後の活用

地域住民のニーズに合わせたイベント等を含めた利用方法の検討により、利用者数を維持する。

# ■ 事後評価原案の公表

## 添付様式7



### 報告

### 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法
インターネット	市のホームページに掲載	平成24年 11月1日～ 11月30日	平成24年 11月1日～ 11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課への持参</li> <li>・郵送</li> <li>・FAX</li> <li>・電子メール</li> <li>・閲覧場所に設置してある「わたしの提案」箱</li> </ul>
広報掲載 回覧 個別配布	平成24年11月1日号 広報あつぎに掲載			
閲覧場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課窓口</li> <li>・市政情報コーナー (本庁舎1階)</li> <li>・公民館</li> <li>・本厚木駅・愛甲石田駅連絡所</li> <li>・総合福祉センター</li> <li>・中央図書館</li> </ul>			



### 報告 市民からの意見

#### <公表結果>

ホームページアクセス 67件、ご意見 1名(4件)

#### <ご意見>

- ◆ 広町公園、道路、公民館の整備等により生活環境に対する満足度は向上し、まちづくりの推進に非常に役立っている。
- ◆ 今後、地域住民の活動が多方面に広がるのはありがたいが、荻野川周辺の道路が手狭なので歩行者と自動車との接触事故の危険性があり、安全・安心の確保が必要である。
- ◆ 広町公園の池には未だ外来種生物が残っており周辺的美観を損ねるので、完全除去した方が良くと思う。
- ◆ 広町公園及び荻野川周辺の自然環境散策の利用者が増えることは明らかであるため、本厚木駅から国道412号バイパス経由広町公園下車のバスを検討してはどうか。

## 2. 今後のまちづくり等について



- **今後のまちづくり方策**

課題の改善状況、事業によって発生した新たな課題  
今後のまちづくり方策

- **フォローアップ計画**

見込値で評価した指標の再確認の時期



### 報告

### まちの課題の変化

まちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
<p>既存資源を生かした自然環境を身近に親しめる施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広町公園の整備により、貴重な動植物を保護するための公園として、また、地域住民に身近に親しめる自然環境の場が整った。</li> <li>・健康・交流のみちとして、荻野川沿いを散策できる歩行空間の整備により、安全で快適な歩行空間が確保された。</li> </ul>	<p>なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・交流のみちの利用者の増加による利便性や交通安全性を考慮した散策環境の改善</li> </ul>
<p>新旧住民を問わず、地域のコミュニティ活動を行うことができる拠点施設の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荻野公民館は、新旧住民を問わず、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が利用できるコミュニティ活動の拠点施設として活用されている。</li> <li>・広町公園では、美化活動や自然観察会などが開催され、地域コミュニティの活動の場として活用されている。</li> </ul>	<p>なし</p>	<p>なし</p>
<p>高齢者に配慮した人優先のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備により区内生活道路の歩行者の安全性や防犯面が向上した。</li> <li>・荻野公民館は高齢者等に配慮したバリアフリー化等、地域住民の意見を反映した、利用しやすい施設となった。</li> <li>・各整備により高齢者だけでなく幅広い世代が安心して暮らせるまちづくりが進められた。</li> </ul>	<p>なし</p>	<p>なし</p>





### 審議

## 今後のまちづくり方策

### 効果を持続させるために行う方策

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 身近に親しめる自然環境の場の更なる活用</li> <li>■ コミュニティ活動拠点施設の更なる活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画以外の健康・交流のみちの整備や清田谷川水辺創出事業整備等に努め、地域資源を活用した自然環境の場の更なる充実を図る。</li> <li>・自然環境を通じて、維持管理や環境教育などソフト施策を行うことで、新旧住民が一体となった地域コミュニティの更なる発展を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・交流のみちにおける「道路里親制度」を活用した地域住民による維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知</li> <li>・健康・交流のみち計画に合わせた「清田谷川水辺創出事業」の実施</li> <li>・みはる野調整池広場計画事業に合わせた「みはる野調整池水路多自然化整備事業」の実施</li> <li>・広町公園をはじめとした公園における地域住民による維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知</li> <li>・広町公園の美化活動、自然環境学習活動、荻野公民館を活用した幅広い世代が参加できる定期的なイベントの開催</li> <li>・自然環境活動により発展したコミュニティ活動を基にした、他の地域活動への展開</li> </ul>



### 審議

## 今後のまちづくり方策

### 効果を持続させるために行う方策

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
<p>■ 幅広い世代が安心して暮らせるまちづくりの推進</p>	<p>・道路や公園等の整備・維持管理により、安全・安心面での相乗効果を図り、暮らしやすいまちづくりを推進する。</p>	<p>・道路構造物並びに道路安全施設の維持管理 ・地域住民による道路や公園の維持管理と行政の後方支援、地域住民への制度の周知</p>



### 審議

## 今後のまちづくり方策

### 改善策

改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
<p>■ 健康・交流のみちの利用者の増加による利便性や交通安全性を考慮した散策環境の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民だけでなく、来訪者も快適に利用できるよう、情報発信による更なる安全性・利便性の向上を図る。</li><li>・散策者の交通安全対策を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報案内板、誘導サイン等の設置</li><li>・ルートの紹介(ホームページでの情報発信、マップの作成等)の検討</li><li>・道路安全施設設置の検討</li></ul>

# フォローアップ計画

## 添付様式5-④



### 報告 フォローアップ計画

	指標名	単位	従前値	目標値	評価値	達成度	見込／ 確定	フォロー アップ予 定時期
指標1	緑道通行 者数	人/日	141	155	174	○	見込	平成25 年3月
指標2	生活環境 に対する 意識	%	22	24	25	○	見込	平成26 年1月
その他 の数値 指標1	みはる野 入口交差 点の渋滞 解消	m	420	—	50	—	確定	—
その他 の数値 指標2	荻野公民 館の利用 者数	人	27,240	—	45,837	—	確定	—